

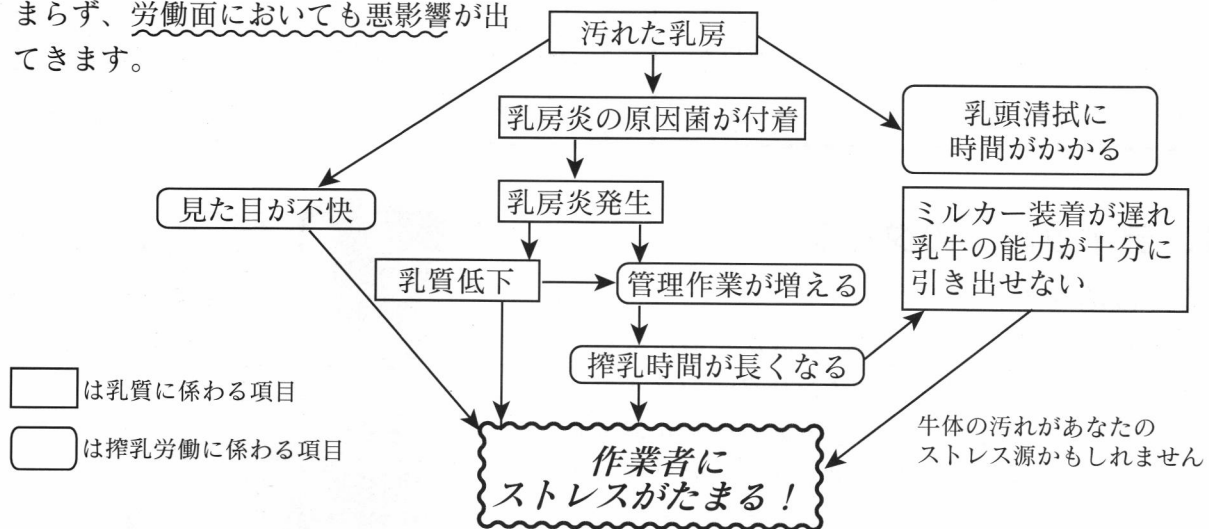
きれいな牛体で快適な搾乳作業を！

「牛は汚れるもの。」そうあきらめてはいませんか。汚れた牛体は、乳質低下以外に作業者の労働にも影響します。

ここでは乳質、搾乳労働の両面からみた牛体の汚れの影響について考えていきましょう。

1. 乳房の汚れはストレスだ！

乳房の汚れは、乳質低下のみにとどまらず、労働面においても悪影響が出てきます。



2. 清潔な牛体の影響

表1は、体細胞数と乳質に及ぼす要因との関係について調査し順位付けしたものです(十勝管内1,300戸)。最も大きな関係があったのは「牛体の清潔さ」で、きれいな牛群では体細胞数が低くなっています。牛体を清潔にすることが乳質改善に極めて重要といえます。その他乾乳軟膏使用の有無やポストディッピングのタイミングなどが乳質改善に影響を及ぼしています。

表1 乳質改善へ影響を及ぼす順位

順位	項目
1位	牛体清潔
2位	乾乳軟膏
3位	ポストディッピングのタイミング
4位	過搾乳
5位	ディッパーの種類
6位	ゴム手袋

(河合, 1998 表を改変)

3. きれいな牛体確保のために

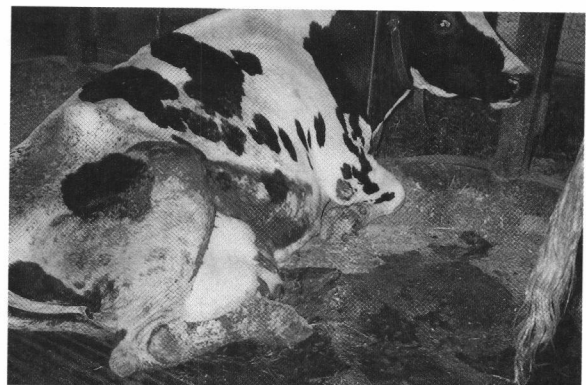
(1) 正しい牛床管理をしましょう

①牛床管理を再点検

きれいな牛体の第一歩は、牛にきれいな牛床を提供することです。

次のような事に注意しましょう。

- ・十分な敷料と除糞の管理
- ・カウトレーナーの適正な設置位置
- ・十分な牛床の長さ・幅の確保
- ・サイドパーテーションの設置



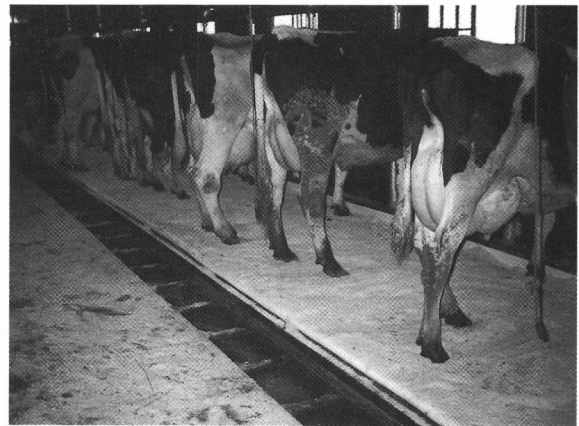
②牛床改善で一石二鳥

最近、クッション性の高い牛床マットを利用した牛床改善の事例がみられます。

牛床改善は牛の快適性が高まるほか、牛体、特に乳質に直結する乳頭の汚れが減少する等の効果が得られます。

表2は、マットを導入した農家に協力いただき乳頭清拭時間を調査した結果です。

牛体をきれいに保つことが労働時間短縮にもつながることがわかります。



牛に快適な牛床を提供することは、乳質改善や労働時間短縮等、人間にとってもうれしい結果をもたらしてくれます。

表2 改造型と従来型の搾乳時の乳頭清拭にかかる時間の差 (50頭当)

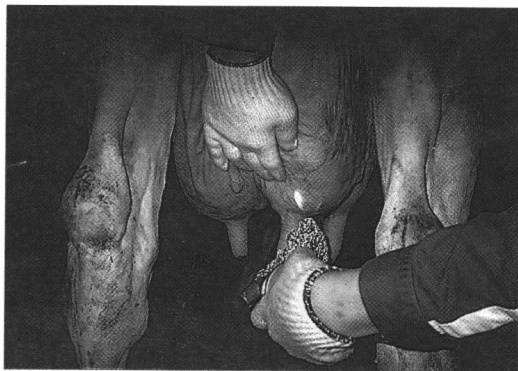
区 分	乳頭清拭時間
従来型	37分20秒
改造型	26分17秒
一搾乳での時間の差	11分 3秒

※従来型=コンクリート牛床+敷料

改造型=牛床マット+おがくず

(1998年南根室地区農業改良普及センター調べ)

(2) 毛刈り・毛焼きをしましょう



乳房の毛が伸びていると次のような悪影響が考えられます。

【労働面では…】

・毛に汚れが付着しやすく落ちづらい。

→搾乳時の乳頭清拭に時間がかかる。

【乳質面では…】

・乳頭清拭後乳頭に水分が残りやすい。

→残った水分が汚水としてライナーへ吸い

込まれる可能性。生乳に混入すれば乳質低下。

(3) 衛生的な環境

ぬかるんだパドックや湿った牛舎は、乳質に悪影響を及ぼすばかりでなく、働く人にとっても不快なものです。

生産・労働の両面において衛生的な環境を作ることは大切です。

場 所	主な対策
パドック 牛歩道等	・傾斜をつける ・火山灰を入れる ・排水溝を設ける 等
牛舎内	・換気を行う ・石灰塗布等

